

第36回 地域福祉を支援する「わかば基金」

地域での福祉活動や被災地での福祉活動の展開、または被災地の復旧・復興などに取り組むボランティアグループやNPOを応援します。

- 対象団体
 - 両部門とも地域に根ざした福祉活動を行っているグループ、ボランティアグループ、NPO法人
 - (1) 支援金部門
 - 国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ
 - (2) PC・モバイル端末購入支援部門
 - パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで、より高齢者や障がいのある人に役立ち、活動の充実を図れるグループ
- 助成内容
 - ・支援金部門
 - 1グループにつき上限50万円 20グループほどを予定
 - ・PC・モバイル端末購入支援部門
 - 1グループにつき上限10万円 30グループほどを予定
- 応募締切 4月26日(金)必着 郵送のみ受付
- 申込・問い合わせ先
 - (福)NHK厚生文化事業団「わかば基金」係
 - 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 TEL:03-3476-5955
 - ※詳細についてはホームページ(<http://www.npwo.or.jp/info/29443>)をご覧ください。



ふくフクフェス2024

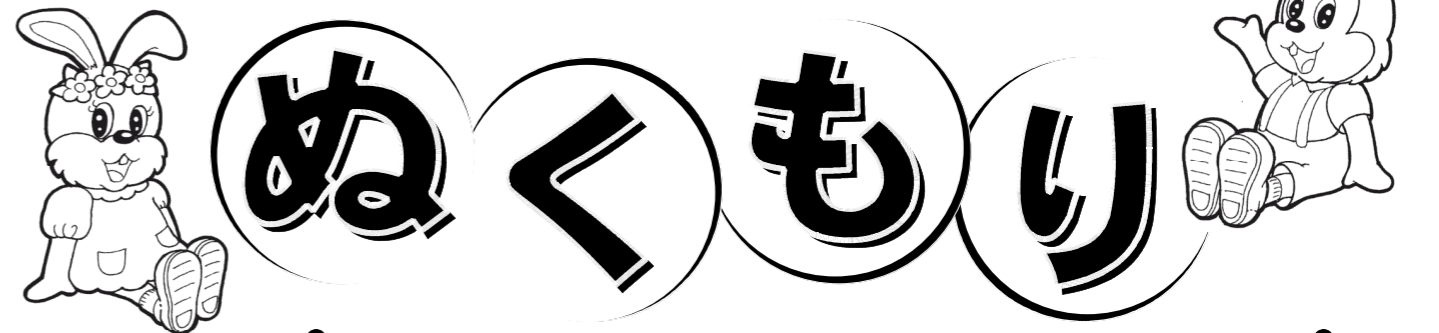
障がいのある人もない人も、大人も子どももいろいろな人が楽しめるイベントです。参加はもちろん、イベントに協力してくださるボランティアさんも募集しています。

- 日時 3月20日(水・祝) 11:00~16:00
 - 場所 松原団地記念公園(草加市松原3-1-1638-6)
 - 内容
 - ステージ:手話パフォーマンス(手話エンターテイメント発信団oioi)ほか多数
 - 出店:福祉系事業所などによる飲食、物販、ワークショップ
 - 体験:いろいろな車いす(山も登れるアウトドア車いすなど)に乗ってみよう ほか多数
- ※「ふくフクフェス2024」はふくらむフクシ研究所の活動として実施します。
 ふくらむフクシ研究所(ふくフク研)は草加市発のプロジェクトで地域での実験をしながら「福祉の世界に新しい価値を「膨」らませ、また「含」ませていくための研究・活動を行っています。

■問い合わせ先
 (株)ここにある
 藤本、大森 E-mail: info@coconiaru-inc.com
 ボランティア申し込みQRコードはこちら→



市民活動・ボランティア情報紙



ボランティア スマイルリレー

防災の原点は相互助け合い

市民防災ミューチャル・エイドの「ミューチャル」という言葉は相互に助け合うという意味があります。活動のひとつに夏休み中に開催される八潮市社会福祉協議会主催のボランティア体験プログラムでの「サバイバル飯炊き体験会」があります。空き缶2本と牛乳パックを2枚利用し、一合の飯炊きを経験するものです。大人も子どもも、マッチや火の取りあつかいを通じ、いざというときの防災を学びながら、突発的に起こる災害に対して、だれもが役立てるということを教えています。

私たちは、その体験にお手伝いとして参加したのち、入会しました。この会は勉強もする会で、被災地や災害についての学習施設などを訪問して災害の原因や対策を勉強します。久しぶりの学習は、とても刺激になり、それを市民のみなさんにお伝えすることにやりがいを感じています。また、助け合いが防災の原点であることや、一方的に助けるヘルプでなく、相互に助け合うミューチャルの精神が会の由来であることも知りました。

この活動を多くの方に知っていただき、今後は防災士や防災専門家を育成したいというのが会の目標です。

ボランティアでつながる地域の“輪”



市民防災ミューチャル・エイド

わたなべ すみえ 渡部 澄枝 さん
 まつうら まさこ 松浦 雅子 さん

【編集・発行】 社会福祉法人 八潮市社会福祉協議会 八潮市ボランティアセンター

〒340-0802
 八潮市大字鶴ヶ曾根414-1
 八潮市身体障害者福祉センターやすらぎ内

TEL 048-995-3636
 FAX 048-995-5287
 ホームページ
<https://yashio-shakyo.jp/>



「ぬくもり」は、市内公共施設、小・中・高等学校などの協力により、各施設の窓口に設置しています。